

【草花の部屋】

チリアヤメ (アヤメ科チリアヤメ属 *Herbertia amoena*)

和名：チリアヤメ 別名：ハーベルチア 英名：Prairie nymph

キジカクシ目 多年草(球根) 原産地：南アメリカ

花言葉：繁栄、豊かな感情、愛らしい人 花色：青紫



←\ 写真-1、2 チリアヤメ～ラフエ
撮影日：2022年5月4日
撮影場所：大和郡山市郊外にて
撮影者：M さん



チリアヤメは、芝生の中などで点々と可憐な花を咲かせ、草姿が小さいわりに花は大きく、鮮やかな濃いブルーの色でよく目立ちます。花は朝開いて夕方にはしぼむ一日花です。

5～6月頃、花茎を伸ばして、淡紫色の花を上向きに咲かせます。3枚の花弁(外花披)は卵形で平開し、プロペラのように見えます。基部に白色と紫色の模様が入り、小さな3枚の花弁(内花披)は濃紫色でごく小さく先端が尖ります。夏の間は休眠していて、秋にひだのある針状の葉が四方に数枚出ます。球根は小さな紡錘形です。

球根の植え付けは10～11月ごろ。陽当たりと水はけのよい場所が適地で、常に湿りがちな環境は苦手だそうです。花後は花がらを切り取り、葉が枯れるまでよく日に当てます。適地なら植えっぱなしでも育てられるそうです。

日本へは大正4～5年に入ったといわれ、関東地方以西の平野部では野生化している場所もあり、条件がよいと大量の種子を作ってばら撒き、どんどん増えるそうです。原産地ではしつっこい雑草だそうです。

チリアヤメにはいくつか種があり、日本で一般的に出回っている種はラフエだそうです。他の種類は、ほとんど店頭には出回っていないそうです。